

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(令和3年度報告)

市町名: 安芸高田市

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価
										被害金額			被害面積			
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	
安芸高田市有害鳥獣 捕獲対策協議会	安芸高田市	R1	イノシシ シカ サル カラス	捕獲活動	ドッグナビ(狩猟者用)26台	安芸高田市有害鳥獣実施隊	R1. 9	100%	イノシシ シカ サル カラス	8,778,000	36,782,000	-117639%	8.8	38.6	-125364%	本市においても、耕作放棄地が多くみられ、イノシシ・シカの潜み地となったり、生息頭数も増加している。今後においても粘り強く対策を講じて行きたい。
					ドッグナビ(猟犬用)15台					5,889,000	6,231,000	7677%	6.1	6.5	7600%	
		囲いワナ 1基			108,000					1,743,000	-595556%	0.05	0.03	10364%		
		箱わな(大型獣用)31基			197,000					0	50204%	0.16	0	50000%		
R2	捕獲活動	箱わな(大型獣用)31基	R3. 3	100%	・大型鳥獣の捕獲強化。											

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。

注2)達成率の算出方法については「実績値(=基準年値-実績値)/目標値(=基準年値-目標値)」であるとして算出してください。

2 第三者の意見

コメント: イノシシによる農作物被害面積の目標値はおおむね達成したものの、被害金額は目標値を大きく上回っている。また、シカによる農作物被害は面積・金額とも目標値のおおむね2倍となっている。安芸高田市鳥獣被害防止計画(R3年度)によると、被害が抑えられない理由の一つとして、イノシシ、シカの個体数が増加する一方、防護柵の管理や捕獲を行う者が十分でないことが挙げられている。このため、引き続き、放任果樹の撤去や追い払いなどに取り組むとともに、研修会の開催等により防護柵の管理や捕獲を行う次世代の人材の育成・確保を強化されたい。(広島県西部農林水産事務所 林務第一課 課長 白石勝也)

注)第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。